

社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人 宇部市社会福祉協議会
第三者評価日	平成22年1月12日（火）
現時点の社協力	<p>（第三者評価者の視点）「社協の現在の姿の一部」 経営が悪化し、財政困難な状況に陥ったことから、「事務事業財政問題検討委員会」を設置し、全ての事業の見直しを行った。その委員会の答申を受け、会費増額の住民説明や特別会員の増強など、役職員一丸となって取り組まれた。 そして、職員が少ない中、介護保険外のニーズ増加により、新たに有償サービスを事業化したり、各種ボランティア講座を開催したりするなど多くの事業を実施している。また、楠支所で実施している「葬祭事業」は、社協が住民の要望に応えられる形で担ってきた経緯から、地域に必要な組織として認識されており、これまでの住民との関係は、今後の事業展開における大きな財産のひとつと思われる。 「法人成年後見人」として、市民の生活を支える役割を担ったり、「コールサービス」を実施したりするなど、個別の支援を意識した事業展開をされている。</p> <p>（宇部市社協側の視点）「強み：PRポイント」 財政問題解決のため「事務事業財政問題検討委員会」を平成19年4月に設置し、委員会答申を同年10月に受けた。答申に基づき、これまで全ての事務事業について見直しを行うとともに、一般会費の増額や特別会員の拡充などに役職員一丸となって取り組んできた。 また、「地域福祉権利擁護事業」、「法人成年後見人の受任」、「コールサービス事業」、「家事介護サポート事業」、「有償デイサービス」や「葬祭事業」など個別支援や住民ニーズに立脚した事業及び地域の特性に配慮した事業等に取り組んでいる。</p>
3年後にめざす社協像	<p>宇部市社協職員一人ひとりの意識改革を図るとともに、組織全体の社協力向上を目指すこととする。このことにより、宇部市が持っている社会資源や社協の連絡調整機能を十分に活用し、地域住民、行政、福祉関係機関そして社協が一体となり「だれもが参加し 安心して暮らせる 思いやりのある 福祉のまちづくり」を推進することとする。</p>
社協力向上経過レポート	<p>（平成22年度） 目標1：職員研修強化の取り組みと社協組織全体に関わるプロジェクトを四つ立ち上げた。 プロジェクトチームを立ち上げたことにより、組織の横断的な連帯感や事業方針に対する共通認識が共有できた。 目標2：地域福祉活動計画策定のため、住民アンケートの実施及び地域別懇談会に取り組んだ。 地域住民の意見やニーズを把握することができた。 目標3：職員の労働環境を改善するため、職員安全衛生委員会及び要綱を設置した。 安全衛生委員会を開催し、職員の労働環境について、必要事項を協議できた。</p>

社協力向上 経過レポート	(平成23年度)
	(平成24年度)